

むなかた市議会だより

令和8年
3月定例会号

令和8年度当初予算 賛成多数で可決

一般会計

450億2045万5千円
(前年度比5億5164万5千円増)

令和8年第1回宗像市議会定例会を、2月26日から3月26日までの9日間で開催し、市長提案議案33件、意見書案1件、議員提案発議2件、そのほか4件について審議を行いました。

今定例会では、令和8年度の予算を審議し、賛成多数で可決しました。防災対策、公共交通、物価高騰対策の3つの主要施策に力を入れた予算編成が行われています。なお、宗像市長選挙の執行に伴い、令和8年度当初予算は骨格予算となっています。予算のうち、いくつかの事業の概要と委員会での主な質疑を掲載いたします。

1 定住化推進事業費

6,300万8千円

住宅取得などの補助制度や奨学金返還支援制度により、定住人口の増加に取り組む。また、オーダーメイド型のお試し居住体験プログラムなどを実施し、市外からの移住を推進する。

主な質疑

問 市外在住の住宅取得希望者を対象に、市内の物件や子どもの遊び場などを巡るプログラムを構築することだが、これまで実施していたプログラムとの違いは。

答 宿泊を想定したお試し居住プログラムを実施してきたが、近隣からの移住希望者に向けて、日帰りでのプログラムを開始する。



2 学校部活動の認定地域クラブ活動への移行

- ・市民文化芸術活動推進事業費
- ・市民スポーツ活動推進事業費

1億436万8千円

中学校部活動の地域展開に伴い、受け皿となる認定地域クラブの立ち上げと活動の充実を図る。認定地域クラブの活動支援のため、送迎などにおける移動手段について検討する。

主な質疑

問 認定地域クラブの活動支援のための移動手段の確保について、具体的な取り組みの内容は。

答 生徒の安全確保および保護者の送迎の負担軽減のために、地域公共交通の活用が可能なかを検討する。



3 障害者訓練等給付費

12億8,482万1千円

障がいのある人の社会参加や経済的自立に向け、障害者訓練等給付サービスを提供する。

主な質疑

問 障害者訓練等給付サービスにおける主な取り組みは。

答 障がい者の就労支援と市内事業所の人手不足の解消のため、障がい者や就労支援事業所が、介護事業所の食事配膳などの業務を担えるかを検証する実証事業を行っている。その結果を踏まえ、他業種への拡大などを行う。



4 公共交通整備事業費

2億4,005万6千円

ふれあいバスの路線再編に取り組むほか、市北部エリアに玄海線BRTの導入や運転手確保のための運転免許取得補助など、持続可能な地域公共交通ネットワークを構築する。

主な質疑

問 公共交通事業者の運転免許取得補助における対象となる免許の種類は。

答 玄海線BRTを担う乗り合いバスの運転手確保のためにも、普通自動車第二種免許だけでなく、大型および中型自動車第一種免許の取得補助を行う。



玄海線BRTで使用する車両

5 特別支援教育推進事業費

9,240万円

特別支援教育支援員および特別支援教育指導員の増員、福岡県立むなかた特別支援学校に新設される福岡県インクルーシブ教育センターに市職員を派遣するなど、特別な支援を要する児童生徒への支援を強化する。

主な質疑

問 新設されるインクルーシブ教育センターに派遣する市職員の業務内容は。

答 具体的な業務内容は現在調整中である。福岡県立むなかた特別支援学校および福岡教育大学との連携を強化することにより、特別支援教育の充実を図る。



福岡県立むなかた特別支援学校

6 子ども家庭相談事業費

934万9千円

スクールソーシャルワーカーを増員し、全ての中学校区にそれぞれ配置する。また、児童福祉の専門家を小中学校に派遣し、教職員に対して専門的な指導や助言を行い、相談支援体制の強化を図る。

主な質疑

問 スクールソーシャルワーカーを増員することで、どのような支援の充実を目指すのか。

答 現在の4人から6人に増員することで、学校訪問や巡回する時間を増やし、教職員との連携や信頼関係の構築、児童生徒の様子の確認、面談など、より細やかな相談事業が実施できると考える。



一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和8年2月27日から3月4日までの4日間にわたって、17人の議員が合計28項目の質問を行いました。

- ◆質問を届けた順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問内容の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは6月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



公共交通に希望を！
日本共産党／川内 亮



問 本市は4月から玄海線BRT(※1)を運行する予定である。しかし、公園通りを經由し東郷駅へ向かう場合、BRTと西鉄バスの乗り継ぎが必要となる。二重運賃防止の対策は。

答 西鉄バスのワイドエコーカードやブランドパスなどの定期券を持っていただければ、二重の運賃負担をすることなく利用できるようにしたい。

問 「むなりんく」の予約について、「コールセンターにつながるなら」「予約が取れない」という声が多い。改善



答 予約アプリの登録説明会を市全体で開催し、アプリ登録者を増やすことでコールセンターの負担を減らしていく。コールセンターへの予約や問い合わせが増えるようであれば、スポット的に回線やオペレーターを増やす対応を考えている。



変わりゆく家庭環境に寄り添って
宗像志政クラブ／伊達 正信



問 大分市中学校いじめ事件の動画がSNSで拡散された。被害者や加害者を守るためには、教職員全員で情報共有し、すぐに教育委員会に報告した上で、教育委員会も子どもを観察すれば、早い段階での対応も考えられるのではないか。

答 事業が発生した際に、市教育委員会にも直ちに報告するよう学校側にも周知している。状況を明らかにし、早急に対応すること、事態の重大化を防げると考える。



法務省のポスター

問 離婚後の養育費に関する法改正について、文書での養育費の取り決めがあれば、滞納時に財産の差押えが可能になった。この情報の周知はどのように行うのか。

答 当事者への丁寧な案内や説明はもちろんだが、ホームページなどを通じて制度の周知を行う。



宗像の観光戦略について
宗像志政クラブ／小林 栄二



問 本市は大陸との交易の拠点であり、「日本のあけぼの」は宗像からである」と考える。議会報告会でのさまざまな意見を踏まえ、建設産業常任委員会を代表して一般質問を行う。

問 世界遺産を核とした観光施策を進める中の課題は。

答 宗像の世界遺産は背景を知らないという理解が難しく、説明や導入がないと魅力が伝わりにくい。価値を伝えるストーリーやガイドの工夫とあわせ、世界遺産を感じる体験型商品の造成を進めている。ストーリーを分か



答 本市には、宗像大社などを中心に、世界遺産の価値の背景となる魅力的なストーリーがある。分かりやすい形で伝えることは、来訪者だけでなく市民の文化的価値の再認識にもつながると考える。



防災対策について
公明党／木村 武士



問 複数の避難所開設時、トイレカーをどこに設置するのか。

答 下水処理の機能不全が発生した範囲、避難者数などを総合的に判断して配車する。

問 在宅避難者支援に、携帯トイレ配布や備蓄拡充を検討できないか。

答 防災訓練時の配布を検討する。また、各



災害用トイレカー

問 家庭で準備する必要性を強く啓発していく。

問 通電火災を防ぐ感震ブレーカーの設置費用を補助できないか。

答 先進自治体の取り組みなど調査を進める。

問 日の里団地103・104号棟跡地の災害時の活用は。

答 指定避難所とする場合、非常食や防災資機材の保管のため防災倉庫の設置が必要。事業者やコミュニティとの協議を進めていく。

問 建物竣工までの今後のスケジュールは。

答 令和8年度に設計、着工、令和9年度の供用開始を想定している。



指定管理者(非公営)について
宗像志政クラブ／安部 芳英



問 非公営団体である地域の主体的活動を「スリ削減ありきの指定管理者制度に当てはめるのは限界では。」「担い手不足などの課題について、団体への支援などを行いたい。」

答 補助制度の創設について検討を進めたい。

問 子育てと寄附金について

答 子育てと寄附金による財源は定住施策に集中させるべきでは。子育て・移住・仕事を分野にしっかりと予算を配分していきたい。

問 子育てと寄附金による財源は定住施策に集中させるべきでは。子育て・移住・仕事を分野にしっかりと予算を配分していきたい。



問 引越し費用の支援や住宅購入の金利優遇策を検討できないか。

答 国の制度と併用できる形であれば、本市を選ぶインセンティブになり得る。効果的な形態の検討を進めたい。

問 民間投資の呼び水となる駅周辺への居住誘導補助の早期検討を。



伊豆市政の2期8年を問う
未来むなかた／北崎 正則



問 伊豆市政の2期8年の成果と課題は。

答 市民の命と暮らしを最優先に決断を行うとともに、将来にわたる市民を守る基盤づくりを進めてきた。また、子育てと教育の充実に一貫して取り組むとともに、多様な主体との協働によるまちづくりを具体化してきた。課題は、雨に強いまちづくりやむなかた特別支援学校の開校を踏まえた教育の充実、地域公共交通による利便性の確保などを進め、まちの持続可能性を高めていくことである。

問 市民の日常的な課題を把握するには、「現場主義」が最も大切だと考えるが見解は。

答 自らが現場に足を運び、市民の皆さまと直接向き合い、対話を重ねることは市政運営の基本であり、極めて重要である。

問 伊豆市政の2期8年の成果と課題は。

答 市民の命と暮らしを最優先に決断を行うとともに、将来にわたる市民を守る基盤づくりを進めてきた。また、子育てと教育の充実に一貫して取り組むとともに、多様な主体との協働によるまちづくりを具体化してきた。課題は、雨に強いまちづくりやむなかた特別支援学校の開校を踏まえた教育の充実、地域公共交通による利便性の確保などを進め、まちの持続可能性を高めていくことである。



問 市民の日常的な課題を把握するには、「現場主義」が最も大切だと考えるが見解は。

答 自らが現場に足を運び、市民の皆さまと直接向き合い、対話を重ねることは市政運営の基本であり、極めて重要である。



市の雇用対策、労働局との連携は
宗像志政クラブ／石松 修



問 市の雇用対策の基本的な考え方は。

答 働く場の確保が市民生活の安定だけでなく、定住促進や地域の持続可能性につながるという認識に立っている。働くことは、生活を支える基盤であるとともに、自己実現や地域社会の活力の創出にもつながる重要な要素であり、多くの方が地域で働き、活躍することが、まちの発展に直結すると考えている。

問 市は令和7年1月に福岡労働局と宗像市雇用対策協定(※2)を締結し、就労サポートセンター「むなぼーと」

問 市の雇用対策の基本的な考え方は。

答 働く場の確保が市民生活の安定だけでなく、定住促進や地域の持続可能性につながるという認識に立っている。働くことは、生活を支える基盤であるとともに、自己実現や地域社会の活力の創出にもつながる重要な要素であり、多くの方が地域で働き、活躍することが、まちの発展に直結すると考えている。



就労サポートセンター「むなぼーと」

問 市の雇用対策の基本的な考え方は。

答 働く場の確保が市民生活の安定だけでなく、定住促進や地域の持続可能性につながるという認識に立っている。働くことは、生活を支える基盤であるとともに、自己実現や地域社会の活力の創出にもつながる重要な要素であり、多くの方が地域で働き、活躍することが、まちの発展に直結すると考えている。



地域医療体制の持続性について
清政郷土むなかた／花田 哲司



問 旧玄海地域の医療機関減少への対応は。

答 診療所の閉院により通院が困難となる地域があることを踏まえ、宗像版公共ライドシェア「むなりんく」の活用促進や巡回診療、オンライン診療の導入について医師会と協議し、地域に必要な医療を確保する取り組みを行う。

問 大島・地島の医療供給体制に関する今後の取り組みは。

答 大島では、課題である医師や看護師の人材不足解消のため、県への医師派遣依頼を継続しつつ、人材確保策の検討を行う。地島で

問 旧玄海地域の医療機関減少への対応は。

答 診療所の閉院により通院が困難となる地域があることを踏まえ、宗像版公共ライドシェア「むなりんく」の活用促進や巡回診療、オンライン診療の導入について医師会と協議し、地域に必要な医療を確保する取り組みを行う。

問 大島・地島の医療供給体制に関する今後の取り組みは。

答 大島では、課題である医師や看護師の人材不足解消のため、県への医師派遣依頼を継続しつつ、人材確保策の検討を行う。地島で



問 旧玄海地域の医療機関減少への対応は。

答 診療所の閉院により通院が困難となる地域があることを踏まえ、宗像版公共ライドシェア「むなりんく」の活用促進や巡回診療、オンライン診療の導入について医師会と協議し、地域に必要な医療を確保する取り組みを行う。

問 大島・地島の医療供給体制に関する今後の取り組みは。

答 大島では、課題である医師や看護師の人材不足解消のため、県への医師派遣依頼を継続しつつ、人材確保策の検討を行う。地島で

(※1) BRT: 地域の生活拠点や交通結節点などの主要箇所のみ停車する高速輸送バスのこと

(※2) 雇用対策協定: 職業紹介・雇用保険・雇用対策を一体的に行う国(労働局・ハローワーク)と、地域の実情に応じた対策を行う地方公共団体が、それぞれの役割を果たし、地域の課題に対応するための協定



化学物質による健康被害を防ぐ
ふくおか市民政治ネットワーク
田中 るみ子



問 国の香害啓発ポスターは、公共施設に継続して掲示すべきでは。香害啓発について、あらゆる方法を通じて周知を行う。

答 香害啓発ポスターは、公共施設に継続して掲示すべきでは。香害啓発について、あらゆる方法を通じて周知を行う。



国の啓発ポスター

問 エプロンを貸し出して、香害で体調不良になる児童生徒の実態調査をしてはどうか。

答 年度初めに行う保健アンケートに、化学物質過敏症などの心配事があれば記入してもらう。

問 宗像ユリックスの広場などでの除草剤散布作業時の侵入防止対策の状況は。また、散布前後の周知の方法は。

答 コーンで作業箇所を仕切って行っている。周知については、敷地の中に看板の設置とホームページでの告知などを行っている。



東郷橋東の交差点改善
日本維新の会／岩岡 良



問 過去の一般質問で、右折困難な東郷橋東交差点に、右折信号の設置を含めた信号現示の変更を求めてきたが、現在の進捗は。

答 昨年度に信号現示の試験的な変更を実施し、福岡県警および宗像警察署と複数回協議を重ねた結果、右折信号の設置などによる変更では、かえって橋梁



交差点の様子

上に滞留を発生させるなどの影響が確認された。そのため、路面標示の設置により右折を希望する先頭車両を誘導し、交差点内の待機車両を増やすことで、右折できる車両数の増加を図ることとした。

防災士に対する支援強化

問 地域の自主防災組織を支える防災士に対する実質的な支援として、活動費の助成を検討できないか。

答 検討する。

そのほかの質問
・有害鳥獣対策について



子どものスマホ利用の課題と対策
宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 家庭でのスマートフォンなどの使用に関するPTAのセミナーなどをより多くの保護者に伝えるために、一斉連絡システム「すぐる」で配信できないか。

答 講座の案内や実施報告は「すぐる」で既に保護者と共有している。今後は講演の映像記録などを保護者に届けていきたい。

問 子どもたちのデジタル機器利用に関するガイドラインを本市独自に策定する考えはあるか。

答 現在、スマートフォンの利用に関する新



たなガイドラインの策定に向けた内部の組織づくりに着手した。単なる指針にとどめず、実効性のある取り組みにつなげていくことが重要であると考える。

そのほかの質問

・外国人児童生徒などへの日本語指導の充実について



大島に学童保育所の設置を
日本共産党／新留 久味子



大島には学童保育所がなく現在は元気な島づくり事業補助金を活用し、保護者が高い利用料を払いながら主体的に事業を行っている。

問 学童保育事業は誰が責任を持って行わなければならない事業か。

答 市が責任をもって実施すべきである。



問 地域の自主防災組織を支える防災士に対する実質的な支援として、活動費の助成を検討できないか。

答 検討する。

そのほかの質問
・有害鳥獣対策について



宗像を日本経済のエンジンに
豊創会／吉田 剛



問 国は「日本列島を強く豊かに」と地域未来戦略を推進する。この時代の潮流を捉え、本市の豊かさの潜在力を磨き伸ばすべきと考えるが、市の認識と今後の戦略は。

答 国の地方創生の方針を踏まえ、宗像ならではの地域資源を戦略的に磨き上げていくことが重要だと考える。

また、本市は、海、山、川、島を有し、日本の縮図とも言える。



宗像大社



高齢者の健康づくりと介護予防
日本共産党／神田 亜希子



問 介護予防の取り組みと支援は。

答 フレイル予防として、健康づくりの推進、認知症に対する知識・理解の普及啓発、通いの場への支援などに取り組んでおり、今後も充実させていく。

問 通いの場の地域差解消や効果を広げるための取り組みは。

答 聞こえのチェック表を作成して、健康づくりの教室や通いの場などで啓発する。

問 加齢性難聴の高齢者へ補聴器購入補助制度を導入できないか。

答 認知症予防、社会的孤立の解消などの観点から導入について調査研究をする。

そのほかの質問
・有害鳥獣対策について



子どもの健やかな育ちのために
未来むなかた／三島 隆由



問 本市の就学援助制度では、親子の収入は基準を満たすが、同居する祖父母の所得が合算され就学援助を受けられない場合がある。他自治体では、全ての児童扶養手当受給者が就学援助を受けられるところも多いが、本市でも拡充できないか。

答 本市では、世帯収入の合計を基準に審査をしている。弱者を救済する制度になつていなければ調査研究する。

問 休日・夜間の保育所と学童保育所の体制は。社会情勢を踏まえて拡充できないか。

答 休日保育を1園、20時までの夜間保育を1園で実施している。現時点で拡充すること



特性と発達に応じた子ども支援を
未来むなかた／上野 崇之



問 幼児期の発達相談と発達支援に関する課題と今後の方針は。

答 相談から支援開始までに計画作成や事業所選定、契約などあり、不安に感じる保護者がいると認識している。一連の流れをしっかりと伝え寄り添う支援を進める。子どもの特性を理解し適切な接し方な

問 発達支援センターの役割は。

答 現在の生活保護基準の1.4倍に変更した。物価高騰などで困

問 今後の公共施設の維持・更新における物価高の影響は。

答 物価高を踏まえて試算しており、さらなる効率化などを図る。不足する場合はさらなる財源の確保と基金の繰り入れを行うことで計画通りの維持・更新が可能と見込んでいる。

問 財源確保の具体的な取り組みは。

答 各事業の課題を洗い出し、効率化や改廃などに取り組む。

そのほかの質問
・有害鳥獣対策について



夜間保育

は難しいと考える。小中学校などにおける平和教育について

問 平和教育の内容は。学習指導要領に基づき、多角的に学んでいる。

の生活保護基準が見直されると、本市の就学援助基準も合わせて見直すことになる。今後、制度環境の変化などを見ながら、誰にどういった支援が必要か、柔軟な視点も持ちながら引き続き検討していく。



宗像市発達支援センターのぞみ園



物価高時代の行政運営
笑顔、むなかた／齋藤 元孝



建設事業費が増加傾向である。また、今後は金利上昇による公債費の増加にも注意が必要であると考える。

問 令和8年度予算では市民税・交付税ともに増収を見込んでいる。物価高による本市の財政への影響は。

答 人件費や物件費、

令和8年 第1回 宗像市議会定例会 賛否が分かれた議案名と議決結果

今定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。全ての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

● 賛否が分かれた議案名と議決結果 (○：賛成した人 ◆：反対した人)

議案番号	議案名	議員氏名 議決結果	齋藤	花田	木村	田中	神田	三島	川内	石松	木藤	岩岡	上野	井浦	小林	吉田	安部	北崎	伊達	新留
			元孝	哲司	武士	るみ子	亜希子	隆由	亮	修	裕司	良	崇之	潤也	栄二	剛	芳英	正則	正信	久味子
第14号議案	宗像市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	◆	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第18号議案	宗像市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第26号議案	令和8年度一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第28号議案	令和8年度宗像市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第32号議案	令和8年度宗像市下水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
意見書案第1号	人道的観点から中東・パレスチナ情勢の改善及び二国家解決の実現に向けた外交努力を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	◆	◆	○	◆	○	◆	○

※岡本陽子議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

意見書

1件の意見書を可決し、国に提出しました。

人道的観点から中東・パレスチナ情勢の改善及び二国家解決の実現に向けた外交努力を求める意見書
〔賛成多数で可決〕

(提案議員)
三島 隆由

(要旨)
パレスチナ自治区ガザ地区およびヨルダン川西岸地区では、長期にわたる武力衝突と占領の影響で、現在も多くの人が深刻な人道危機に直面している。

本問題は、長年にわたり解決に至っていない歴史的かつ構造的な課題で、国際法および人権を基礎とした政治的解決が不可欠である。このことを踏まえ、我が国が日本国憲法の理念に基づき国際社会の平和構築に寄与することは重要な責務であることから、日本政府に対し、次の取り組みを強く求める。
▼即時の停戦および人道支援の確保に向け、国際社会と連携した積極的な外交努力を行うこと
▼国際法および国際人道法の遵守について、当事者双方に対し強く働きかけること
▼一国家解決の実現に向け、国際情勢を踏まえつつ主体的かつ建設的な外交を推進すること

委員会レポート

令和7年度に常任委員会及び議会運営委員会は行政視察を行いました。報告書はホームページに掲載しています。

委員会名	場所	内容
総務常任委員会	大分県佐伯市	オーガニック給食の取り組みについて
	大分県日田市	大雨災害に対する減災・防災の取り組みについて
	大分県玖珠町	学びの多様化学校の取り組みについて
社会常任委員会	愛知県大府市	▶犬及び猫との共生について ▶地域猫活動の取り組み推進について
	愛知県半田市	ごみ処理施設移転に伴うごみ処理事業について
	愛知県知多市	困難を抱える若者への支援について
建設産業常任委員会	長野県長野市	▶善光寺周辺の観光施策について ▶鳥獣害対策とジビエ加工センターについて
	長野県須坂市	「須坂フルーツ発泡酒」を核とした果樹振興と販わい創出事業について
議会運営委員会	滋賀県長浜市	議会活性化に向けた取り組みについて
	滋賀県草津市	議会改革の取り組みについて
	京都府精華町	議会改革の取り組みについて

コミュニティ会長会と意見交換会を行いました

2月2日にコミュニティ運営協議会会長会と議員で、意見交換会を行いました。

今回は、常任委員会ごとに3つのテーマを設定し、それぞれの課題について話し合い、相互理解を深めました。

- 総務「地域防災力の向上と防災に関する住民への情報伝達について」(赤間西、河東、東郷、日の里地区コミュニティ)
- 社会「地域でできる高齢者や子どももの支援について」(吉武、赤間、自由ヶ丘、南郷地区コミュニティ)
- 建設産業「地域公共交通について」(玄海、池野、岬、大島地区コミュニティ)



意見交換会の様子

子ども議会体験会を開催します!

宗像市議会では、楽しい体験を通じて、市議会の仕組みを知ってもらうために、市内在住の小学6年生を対象に「子ども議会体験会」を開催します。詳細は、5月以降に市ホームページで改めてお知らせいたします。夏休みの思い出づくりや学びの一環として、ぜひ、ご参加ください!

日時 2026年7/31(金) 10:00~12:00

会場 宗像市役所 議場・第2委員会室

対象 宗像市内在住の小学6年生

編集後記

選挙で初当選し、早くも議員活動2年目を迎えました。地域を歩き、市民の皆さまの声に直接耳を傾ける日々の中で、責任の重さを実感しています。52歳、まだまだ挑戦の途中です。若さと行動力を生かし、初心を胸に、信頼される議員を目指して、議会だよりを分かりやすく伝えられるよう努めてまいります。
(花田哲司)

副議長の交代について

副議長を務めていた森田卓也議員の辞職に伴い、令和8年2月26日に副議長選挙を行い、伊達正信議員が副議長に就任しました。

日付	内容
6/26 金	本会議(議案上程、提案理由の説明)
29 月	本会議(代表質問)
30 火	本会議(一般質問)
7/1 水	本会議(一般質問)
2 木	本会議(一般質問、大綱質疑)
3 金	本会議(議案上程)
6 月	総務常任委員会
7 火	社会常任委員会
8 水	建設産業常任委員会
9 木	考案日
10 金	予算第1特別委員会(※1)
13 月	予算第1特別委員会(※1)
14 火	予算第2特別委員会(※2)
15 水	予算第2特別委員会(※2)
16 木	委員会予備日
23 木	本会議(委員会報告、質疑、討論、採決)

- ※1 予算第1…一般会計
- ※2 予算第2…特別会計・企業会計
- ▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
- ▼請願の提出締切日は6月19日(金)です。
- ▼本会議と委員会は、ホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。
- ※日程・内容などが変更になる場合があります。傍聴などの際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。

6月 定例会の日程

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。お問い合わせは 議会事務局へ TEL 0940(36)1119

宗像市議会 検索



発行/宗像市議会 ● 編集/議会広報編集部 ● 〒811-3492福岡県宗像市東郷一丁目1番1号 ● TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591